

青森研究開発センターのCAP活動について

令和4年8月29日

日本原子力研究開発機構
青森研究開発センター

青森研究開発センターの概要



原子力船「むつ」

- H4.2 実験航海終了
- H7.6 「むつ」原子炉室一括撤去完了
- H13.6 「むつ」使用済燃料を搬出
- H18.10 廃止措置計画認可

青森研究開発センターの業務

- 原子力第1船原子炉の廃止措置
- 残存原子炉施設（附帯陸上施設）の維持管理
- 放射性廃棄物の処理、保管管理
- 加速器質量分析装置（AMS）による極微量元素分析及びAMSの維持管理

青森研究開発センターの体制

- 保安管理課、総務課、施設工務課の3課体制
- センター人員の合計75名（職員23名、請負作業員等52名）



CAP活動の位置付け、収集対象

●CAP活動の位置付け

- 是正処置及び未然防止処置について、保安の向上及び品質マネジメントシステムの継続的改善に資するため、CAPとの連携が不可欠であるとの認識。
- 「不適合管理並びに是正処置及び未然防止処置要領」にCAP活動を規定。

●CAP活動の収集対象

- 不適合情報
- 保守管理情報
- 内外からの指摘事項等
- 気付き事項、ヒヤリハット
- 他の施設等から得られた知見

CAP情報の収集方法、取扱い

●CAP情報の収集方法

- 朝会、課会等
- 現場確認（課長巡視、マネジメントオブザベーション等）
- 所長による巡視、意見交換会等
- 投書システム

記名、無記名問わず、いつでも気付き事項の報告が行えるシステムとして「CAP投書箱」を居室入口に設置



●CAP情報の取扱い

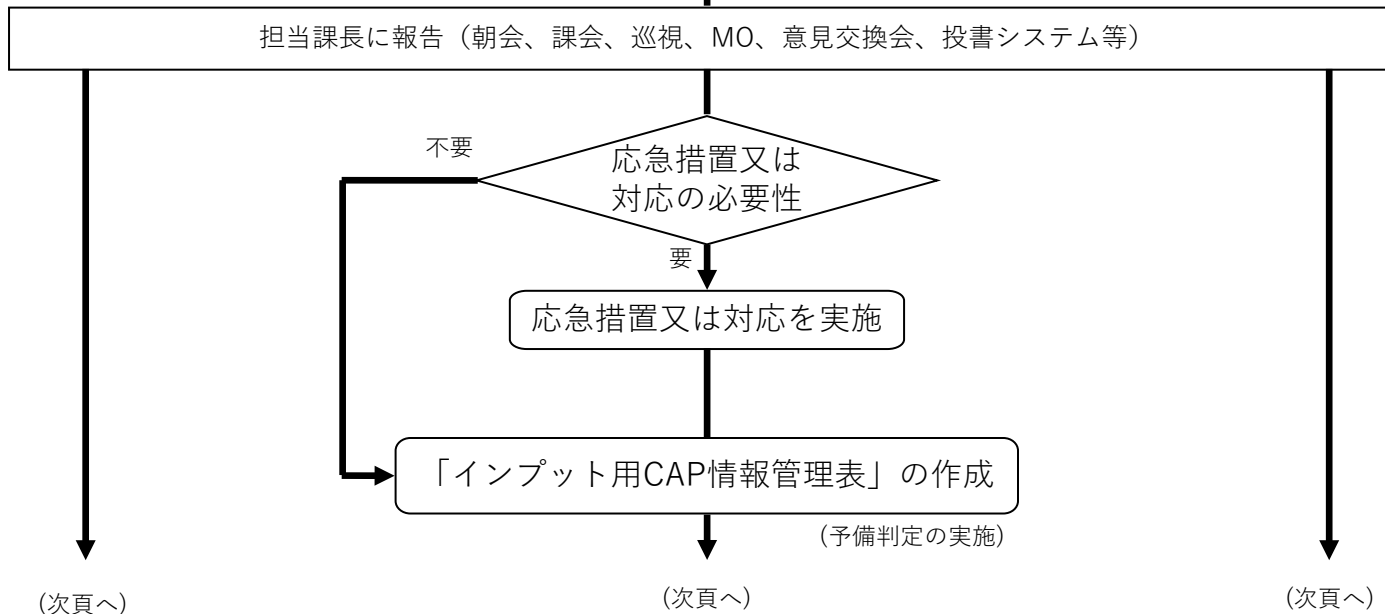
- 保安活動会議※（2回/月）にて各課が収集したCAP情報を報告
- CAP情報に対する処置区分等の妥当性の審議
- ▶ 所長が審議内容に基づき処置区分を判定

※保安活動会議メンバー：

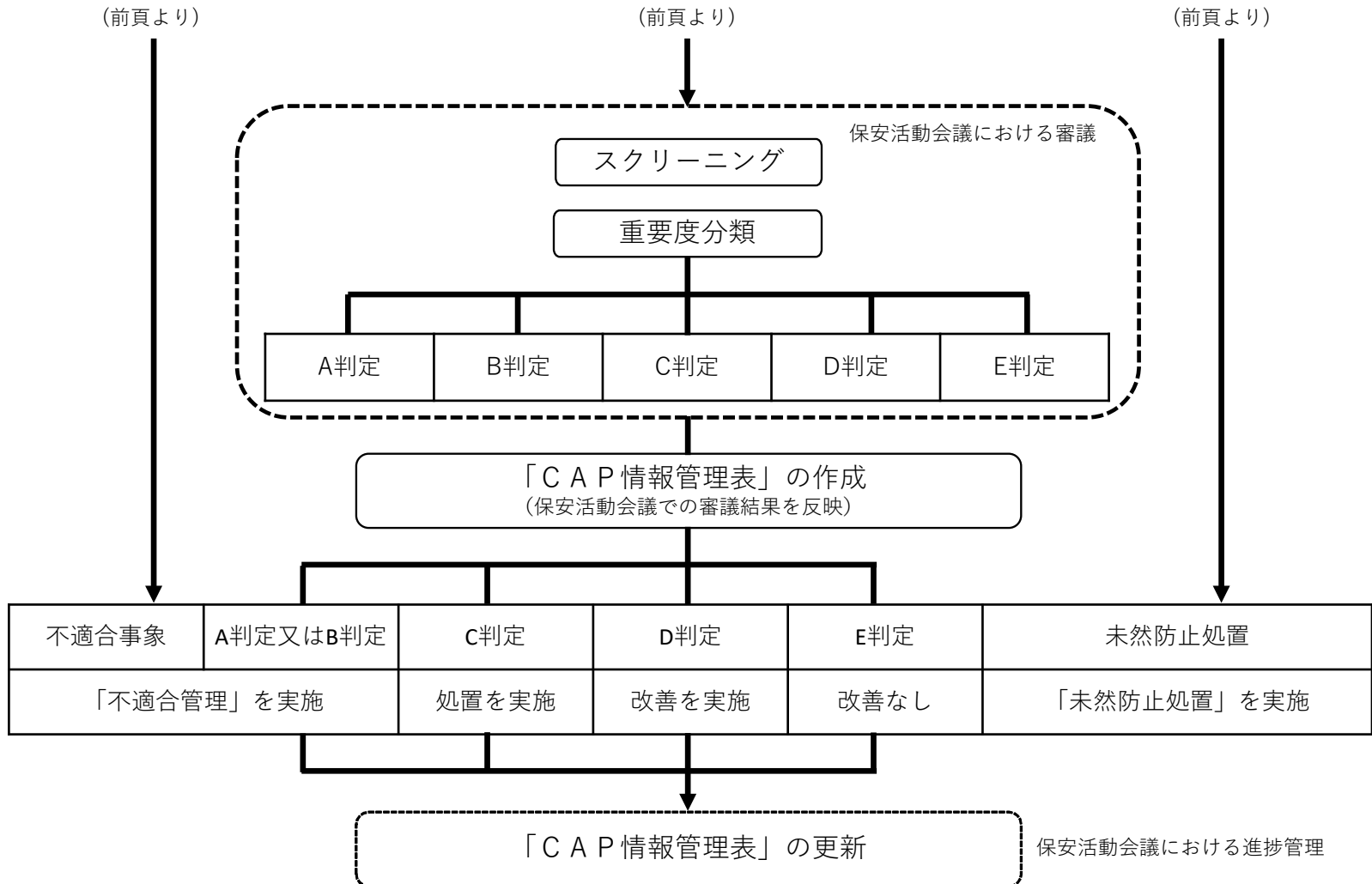
所長、保安管理課長、総務課長、施設工務課長及び所長が招集した 職員（副所長、廃止措置施設保安主務者、施設工務課マネージャー、保安管理課技術副主幹、施設工務課技術副主幹）で構成（計9名）

CAP活動のフロー (1)

不適合情報等の情報収集				
①不適合情報	②保守管理情報	③内外からの指摘事項等	④ 気づき事項、ヒヤリハット	⑤他の施設から得られた知見
<ul style="list-style-type: none"> 青森研究開発センターにおいて発生した不適合事象 	<ul style="list-style-type: none"> 施設、設備・機器等の巡視等において確認された、通常と異なる事象 (気掛かり、気づき事項) 	<ul style="list-style-type: none"> 原子力規制検査等における原子力規制庁の検査官からの口頭指摘、 内部監査における改善事項及び観察事項 所長巡視、意見交換会等での指摘事項 課長による巡視、意見交換会、MO等での意見、指摘事項 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員、請負業者の気づき 他拠点または安核本部安全管理部からの事例で、センターに関連のある気づき事項 原子炉施設における保安活動及び品質マネジメント活動に関する気づき事項 	<ul style="list-style-type: none"> 安核本部安全管理部から発信される「水平展開管理票」に基づく水平展開情報 所長指示 安核本部安全管理部から発信される原子力施設情報公開ライブラリー (NUCIA) 新聞情報等 国内外の最新の技術的知見



CAP活動のフロー(2)



CAP活動の実績（令和2年度及び3年度）

• 令和2年度

- CAP情報（653件）

 - 気付き・気がかり事項7件、設備等管理情報1件、
機構内外からの指摘事項11件、
他の施設から得られた知見634件

- CAP情報の処理状況

 - 改善処置24件、周知629件

• 令和3年度

- CAP情報（951件）

 - 気付き・気がかり事項7件、設備等管理情報4件、
機構内外からの指摘事項6件、
他の施設から得られた知見934件

- CAP情報の処理状況

 - 改善処置26件、周知908件

CAP活動による改善例

• 脚絆の装着について（良好事例）

（令和2年12月9日の保安活動会議で報告）

協力業者がズボンの裾の引っかかりによる転倒防止等の観点から脚絆を装着していた。脚絆を購入し、令和3年2月課員に配付。



• Ge半導体検出器の電気冷却ホース部一部氷結

（令和4年1月13日の保安活動会議で報告）

従業員がGe半導体検出器の電気冷却ホース部の一部が氷結しているのを確認（従業員による気付き）。メーカーによる確認の結果、ホース部の断熱材の経年劣化と推定。令和4年度に更新を実施（契約手続き中）。



CAP活動に係る課題等

- CAP投書箱の利用実績がない。幅広く情報を集約するため利用促進が課題。
- 他の施設からの知見として、NUCIAの情報を活用しているが、多数の案件から自施設に活用できるものを仕分けることに労力がかかっている。仕分けの効率化が課題。